

令和5年度 調布市立第一小学校 学校評価報告書（学校長 樋川 宣登志）

学校の教育目標		
○よく考え、自分から進んでやりぬく ○思いやりの心を持ち、なかよく協力する ○しょうぶなからだで明るい生活をする		
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像		
「子どもたち一人ひとりを大切に作る学校」		

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>								
1 豊かな心(徳)			2 確かな学力(知)			3 健やかな体(体)		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	① 読書旬間の取組2回。演劇鑑賞、福祉教育、スポーツ体験、校外学習等々。	B	①授業観察(2回)、OJT研修(月1回)により授業スタイルを共有し、学習効果を高める。(通年)	B	①なわとび・持久走期間の取組。(全)	B	②「心と体の幸せ」について、学校保健委員会での講演、全学年の授業実施。	B
	②異学年交流(月1)。ハッピー・フェスティバル(全校遠足)。	A	②「進んで伝え合おうとする児童の育成」を図る研究の取組(研究授業3回)	B	②アンケートで、健康・体力に関する肯定的評価68.9%	C		
	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価		
	①アンケートで、読書活動について肯定的評価61.2%	C	①全国学力調査、算数で、都の平均を10ポイント以上上回った。アンケートで、学力の定着について肯定的評価92%	A	②アンケートで、自主的な学びについて肯定的評価81.4%。	A		
学校関係者評価	◇授業参観では、子どもたちが交流したり協力したりする活動を評価いただいた。		◇授業参観において、学習規律のよさ、子どもたちの関心・意欲を高める指導の工夫、タブレット端末を活用した授業を評価いただいた。			◇学校保健委員会や保健授業について評価していただいた。体力・運動能力については「心配であり、充実させてほしい。」とご意見があった。		
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>								
4 安全・安心な学校生活の確立			5 個性の尊重と伸長			6 保護者・地域の教育力の活用		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	①感染症予防、アレルギー対応のルールの確実な実施(通年)。	B	①特別支援教室専門員・SS等による授業補助や個別指導の実施(通年)。	A	①地域運動会や夏祭りなど、PTA行事や地域行事への参加。	B	②PTA・地域団体との連携による防災・防犯、交通安全の取組(通年)。	B
	②いじめ対策委員会による未然防止と早期解決への取組(通年)	B	②校内委員会の活用、関係機関との連携による不登校児童、保護者への支援(通年)。	B	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	①開催数、参加教員数の増。	B
	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	②交通事故、犯罪被害0件	B
	①アレルギー事故0件	B	①②アンケートで、相談・対応に関する肯定的評価94.4%	A				
学校関係者評価	◇落ち着いた学校生活の様子、いじめや不登校対応について評価いただいた。		◇一人一人への細やかな対応について評価いただいた。「児童アンケートや実態把握をもとに、さらに細やかな対応に努めてほしい。」とご意見をいただいた。			◇評価委員の多くの方が地域協力団体ともかわっており、自ら率先して参加・協力していただくことができた。		

人材育成・組織運営	
自己評価	◇自己申告面接での目標の設定と具体化、校長と各リーダーとの打合せ等を通して、ミドルリーダーの育成を進めた。 ◇OJT担当をリーダーに校内研修会を開催し、教員の資質向上を図った(月1回程度)。 ◇業務の効率化、職員のライフワークバランス改善を目指し、会議・業務等を整理削減したりペーパーレス化を進めたりした。 ◇病気休職などによる欠員があったものの補充ができず、現有の教職員で対応することとなった。
学校関係者評価	◇校長の経営方針や経営状況について賛同・評価をいただくとともに、教育活動の質を高く評価いただいている。 ◇来校の際や授業参観の際などに、前向きでまじめな教職員の姿勢、指導力、子どもへの接し方について評価をいただいている。

中期的な経営目標の達成状況	
1	文化文芸的な活動、体験活動については、十分に取り組めた。読書についての保護者アンケートの結果が低かった。読書活動の充実を図る必要がある。
2	「進んで伝え合おうとする児童の育成」については、児童の発言や話し合い活動、プレゼン発表などに順調に成果を挙げている。学力の定着状況がよい。
3	健康保持・体力増進のための活動は、感染症前の状況まで戻っていない。保護者アンケートの結果も低く、取り組みを充実させる必要がある。
4	安全・安心な学校生活を確立することは、概ね達成している。
5	個別の支援に取り組み、児童や保護者の困り感に添えてきている。不登校対応を重点に、さらに一人一人の個性を大切にする支援を計画していく。
6	保護者・地域の教育力を活用した教育活動、児童の安全確保は、概ね達成している。地域との連携行事が復活しつつあり、今後充実させていきたい。

次年度の重点課題		
【不登校児童への支援】	◇不登校状況の児童への支援の充実。	◇登校が難しくなりつつある児童の困難さへの対応。
【主体的な学習への転換】	◇児童が主体的に学ぶ授業の工夫。	◇校内研究「進んで伝え合おうとする児童の育成」の推進。
【体力・運動能力の向上】	◇体育科授業の充実。	◇体力・運動への関心を高める取組の展開。
【読書好きを増やす取組】	◇読書月間等の取組の強化。	◇児童・保護者への啓発活動。